

図像資料が語る 近代中国のイメージ

近年の東アジア各国の歴史学研究では、文字資料を中心とした従来の研究視点を見直して、絵画、図像、写真、映画などの非文字資料を取り入れた研究が大いに注目されている。

2003年度に神奈川大学 21世紀 COE プログラムとして採択された「人類文化研究のための非文字資料の体系化」は、このような日本国内の動きを最も敏感に反映した先駆的な取り組みであったと自負している。この研究成果を継承した非文字資料研究センターの共同研究班の一つ「東アジアの租界とメディア空間」は、センター発足後7回目の租界関連公開研究会として、今回、19世紀以降の欧米と日本が関わった絵画、ポスターなどの図像資料を通じて近代中国のイメージを考える公開研究会を開催し、中国と東アジアの図像資料研究のための新たな研究視点の共有を図りたいと希望している。

参加自由／事前申込不要

問い合わせ先：〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター事務局
Tel：045-481-5661（内線 3532） Fax：045-491-0659

<http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>
<http://www.kanagawa-u.ac.jp/>



2012. 6 / 2 (土) 13:00—17:00

会場：神奈川大学 横浜キャンパス 1号館 804 会議室

開会挨拶／田上 繁（非文字資料研究センター長）

趣旨説明／大里 浩秋（神奈川大学外国語学部 教授・非文字資料研究センター 研究員）

報告

■「イギリス人画家ウィリアム・アレグザンダーが演出した18世紀末期の中国」
ウィリアム・シャング（多摩大学グローバルスタディーズ学部 教授）

■「日本人外交官が収集した中国近代絵画 一京都国立博物館須磨コレクションについて」
呉 孟晋（京都国立博物館 研究員）

■「戦前期の日本製ポスターに見られる中国イメージ」
田島 奈都子（姫路市立美術館 学芸員）

全体討論及びコメント

コメンテーター／大里 浩秋（神奈川大学外国語学部 教授・非文字資料研究センター 研究員）

孫 安石（神奈川大学外国語学部 教授・非文字資料研究センター 研究員）

彭 国躍（神奈川大学外国語学部 教授）

主催／神奈川大学非文字資料研究センター

【交通のご案内】

東急東横線「白楽駅」下車徒歩13分／横浜市営地下鉄片倉町駅前から横浜市営バス利用「神奈川大学入口」下車
※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。